

優良取組事例

優良取組事例	1 デマンド監視システム（BEMS）の導入によるデマンド監視、空調の間欠運転			
参考取組事例	2 炊飯ライン設備の更新 3 夏季の空調負荷低減のための対策（室外機へよしずの設置、屋上散水） 4 照明にプルスイッチの取り付け			
事業者名	株式会社サンヨーフーズ			
事業所名	笠岡工場			
主たる業種	食料品製造業			
事業の概要	弁当・おにぎり・寿司の製造業			
温室効果ガス排出量	基準年度 (H21年度)	5,999 tCO ₂	H25年度	6,039 tCO ₂
原単位当たり排出量	基準年度	160tCO ₂ /百万食	H25年度	118.8tCO ₂ /百万食
当該年度削減実績	総排出量削減率	—	原単位削減率	25.8 %
エネルギー消費が大きい設備	生産設備（炊飯ライン設備、フライヤー等） 空調設備 蒸気・温水ボイラー			

優良取組の詳細

1 デマンド監視システム（BEMS）の導入によるデマンド監視、空調の間欠運転

●取組前の課題

温度管理の工場であるため、夏季以外の需要電力はほとんど上がらないため、夏季（7月～9月）のデマンドピークをいかに抑えるかが問題であった。

●取組

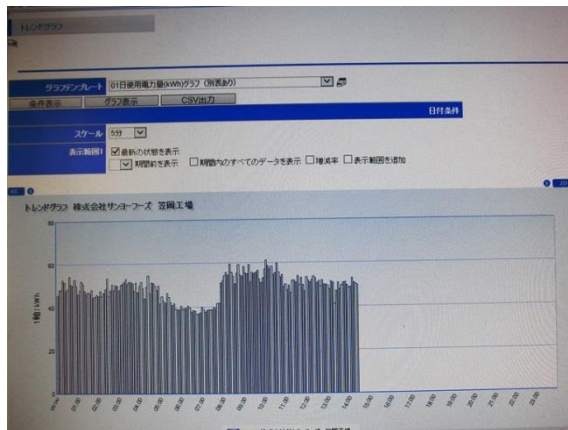
- 夏季のデマンド対策として、パトライトが鳴った場合には、事業所内で製造に影響が出ない空調設備等を停止させる優先順位を決めておき、順次自動的に停止するよう制御されている。
- 各部屋の空調設備において常時間欠運転を行い、電力量の低減につなげている。



空調の間欠運転



デマンド管理画面



時間別電気使用量



パトライト

●取組結果

BEMSの導入費用は約680万円（うち約250万円は補助金を活用）であり、費用対効果としては約2.8年で回収できる計画である。

工場を増設したため、前年度と比較して契約電力、電力使用量は増加している。そのため、削減効果を単純に算出することはできないが、消費電力量は社内目標ラインで推移しているため、電力量の削減につながっている。

●対策のポイント

工場の増築・増設に伴い、最大需要電力が上がる中で、できる限り契約電力を下げるように取り組んでいる。

計測点数、デマンド監視、間欠運転等の内容によって、導入費用は変わってくる。

参考取組の詳細

2 炊飯ライン設備の更新

●取組

炊飯ラインの増設に伴い、これまでの連続式炊飯ラインから個別式の炊飯ラインへの更新。放熱ロスの低減につながり、LPG 使用量の減少につながっている。

●取組の効果

生産量が増加しているため、明確な効果を示すことが難しいが、同条件として試算した場合、約30%のLPG 使用量の削減につながっている。

3 夏季の空調負荷低減のための対策（室外機へよしずの設置、屋上散水）

●取組

①室外機へのよしずの設置

空調負荷低減のために、よしずを設置している。5%程度の省エネに寄与する。



②屋上に散水機の設置

中水を利用して、屋根に散水を行い、冷却効果を高めている。



4 照明にプルスイッチの取り付け

●取組

事務所内の照明は不要なところは消灯できるように、プルスイッチを取り付けて、省エネに努めている。

